

令和5年（2023年）2月18日開催熊本・上益城地域医療構想調整会議
「御意見・御提案書」による意見等及びその回答

令和5年（2023年）3月
県医療政策課

【末藤委員からの意見等要旨】

- 植木病院の所管を市から旧国立病院へ移管したらどうか。国立のサテライトとして外来機能だけにする。植木近辺の高齢者は地元医師会、急患は国立で対応する。
- 医療構想会議は「ガス抜き」！！余り意味がない。会議では「本音」が出せない。
- 熊本市医師会立の熊本地域医療センターは赤字です。熊本地域医療センターは熊本市市民病院に吸収してもらい、本荘サテライトとして外来機能だけにする。看護学校は市立、検査センターは業者へ。病院は熊本市へ。（ベッド数は減らすべき）
- AIの活用で医療が大きく変わりますことをもっと主張するべきです。

【県からの回答】

- 病床数や個別の医療機関の今後の在り方については、地域の実情を踏まえつつ、地域医療構想調整会議の場で御協議頂きたいと考えております。県としても必要なデータや国の動き等について情報提供を進めて参ります。